

2005年1月1日から2024年3月31日までに本学法医学講座で法医解剖が実施されたご遺族及びその関係者へ

研究実施のお知らせ

研究課題名: 中枢神経系免疫システムを介した脳の生活反応の解明

研究期間: 研究機関の長の許可日～2024年9月11日

研究責任者: 山梨大学医学部法医学講座 准教授 猩々英紀

山梨大学医学部では、上記課題の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成29年5月30日施行)に基づき、匿名化された既存試料・情報(診療録等)の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

法医学では、生活反応(出血や細胞反応などの生体反応)の有無は、ご遺体の傷が生前にできたものか、死後にできたものかを示す重要な証拠です。また、免疫細胞の反応を調べることで、受傷後の経過時間を推定できることもあります。

ところが、これまでリンパ球の様な免疫細胞を利用した脳の生活反応の解析は殆ど行われていませんでした。その理由は、正常な脳ではリンパ球の様な免疫細胞の出入りはないと考えられていたためです。しかし、近年、動物の中枢神経系で脳脊髄液から髄液と免疫細胞の両方が輸送されていることが分かってきました。

そこで、この研究ではヒトの脳にも脳脊髄液を介して免疫細胞が移動する仕組みや構造があるかを調べます。この研究で、脳脊髄液を介して移動している免疫細胞の種類や性状を特定し、脳の生活反応に関わる免疫細胞を明らかにすることができれば、これまで見過ごされてきた生活反応の指標として利用できると思っています。

本研究は保有する既存試料・情報を用いた研究であり、ご遺族から同意を得ることは困難です。そこで、この研究では、本学法医学講座および鹿児島大学法医学分野にて法医解剖が実施され、保有している脳、脳脊髄液、血液、脾臓、リンパ節及び骨髄を用います。

【研究の方法について】

法医解剖では死因などを究明するために、法律に基づき、裁判所の許可を得て検査および鑑定に必要な試料およびそれに付帯する情報を取得しています。この研究では、法医解剖の一環として取得された脳、脳脊髄液、血液、脾臓、リンパ節及び骨髄とともに付帯する情報を収集します。また、法医解剖に準じて、個人情報には匿名処理を施し、個人情報が漏洩しないよう十分に留意します。

提供していただいた脳を用いて脳脊髄液を介して免疫細胞が移動する仕組みや構造があるかを調べます。また、脳と脳脊髄液に含まれる免疫細胞の種類や性状を調べ、脳に損傷や変性が

あるご遺体あるご遺体とないご遺体で分析結果を比較します。また、死者に付帯する情報とともに、脳の生活反応に関わる免疫細胞を明らかにします。

【利用する試料・情報について】

2005年1月1日から2024年3月31日の間に本学で法医解剖によって試料が保管されている方。

＜利用する情報・項目＞

情報：法医解剖結果、検査データ

試料：脳、脳脊髄液、血液、脾臓、リンパ節及び骨髄

【試料・情報を利用するものの範囲】

この研究は、多施設共同研究として、以下の研究機関で実施されます。

この研究で使用する試料・情報は、全て本学及び鹿児島大学においてオプトアウト（通知又は公開と拒否する機会の提供）し、匿名化されたデータです。

研究代表者

山梨大学医学部法医学講座 猩々英紀

研究分担者

山梨大学医学部法医学講座 安達 登

山梨大学医学部微生物学講座 葛西宏威

共同研究機関

鹿児島大学医学部社会・行動医学講座法医学分野 林 敬人

【資料情報の管理】

山梨大学医学部法医学講座 安達 登

【個人情報の取り扱いについて】

収集したデータは、誰のデータかわからなくした（匿名化といいます）上で、統計処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益相反について】

この研究は、山梨大学で管理されている研究費を用いて実施いたします。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、ご遺族及びその関係者の自由意思に基づくものです。試料・情報がこの研究に用いられることについて、ご遺族にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることは一切ありません。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全には廃棄できないことがあります。

また、ご遺族やその関係者の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報及び知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望の方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

＜お問い合わせ等の連絡先＞

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

メール: hshohjoh@yamanashi.ac.jp (猩々英紀)

FAX: 055-273-6753